	営業の種類	業の定義	変更点	主な留意点
1	飲食店営業	食品を調理し、又は設備を設けて客に飲食させる営業	・旧喫茶店営業は飲食店営業の一形態として統合 ・旧喫茶店営業と旧菓子製造業の露店営業は、新飲食店営業の露店営業に統合	・「調理」…その場で客に飲食させるか、又は、短期間のうちに消費されることを前提として、一応摂食しうる状態に近くなった食品を変形したり他の食品を附加したり、あるいは調味を加えたりなどして飲食に最も適するように食品を加工成形すること ・飲食店営業のうち、以下の「簡易な営業」については施設基準を一部緩和する規定がおかれた 【簡易な飲食店営業の対象】 (i) 既製品（そのまま喫食可能な食品）を開封、加温、盛り付け等して提供する営業 （食品例：そうざい、ハム、ソーセージ、スナック菓子、缶詰、おでん等） (ii) 半製品を簡易な最終調理（揚げる、焼く等）を行い提供する営業 （食品例：唐揚げ、フライドポテト、ソフトクリーム等） (iii) 米飯を炊飯、冷凍パン生地を焼成する営業 (iv) 既製品（清涼飲料水、アルコール飲料等）及び既製品以外の自家製ジュース、コーヒー等の飲料を提供する営業
2	調理の機能を有する自動販売機により食品を調理し、調理された食品を販売する営業	(i) 部品等が直接食品に接触する機種であって、自動洗浄装置等の危害発生防止のための高度な機能を有していない機種による営業 (ii) 部品等が直接食品に接触する機種であって、高度な機能を有しているが、屋外に設置されている機種による営業	・従前、飲食店営業又は喫茶店営業として取り扱われていた調理機能を有する自動販売機を単独の業種として規定	・高度な機能を有し、屋内（屋根、柱及び壁を有する建築物内）に設置され、高度な機能を有するコップ販売式自動販売機は届出の対象
3	食肉販売業	鳥獣の生肉（骨及び臓器を含む。）を販売する営業で、食肉を専ら容器包装に入れられた状態で仕入れ、そのままの状態で販売する営業を除く。	・食肉を専ら容器包装に入れられた状態で仕入れ、そのまま販売する行為については、営業届出の対象	・未加熱のとんかつ、メンチカツ、コロッセ等の半製品を調整する場合は追加で飲食店営業の許可は不要だが、これら半製品を調理し、完成品を調理販売する場合は、簡易な飲食店営業の許可を要する。
4	魚介類販売業	店舗を設け、鮮魚介類（冷凍したものを含む。）を販売する営業で、魚介類を生きているまま販売する営業、鮮魚介類を専ら容器包装に入れられた状態で仕入れ、そのままの状態で販売する営業及び魚介類競り売り営業を除く。	・鮮魚介類を専ら容器包装に入れられた状態で仕入れ、そのまま販売する行為については、営業届出の対象	・附带的に魚介類を茹でる、焼くなどの調理を行うことは差し支えない ・水産製品製造業の許可を取得している場合、鮮魚介類の販売について魚介類販売業の許可は不要
5	魚介類競り売り営業	鮮魚介類を魚介類市場において競り売り、入札による取引、相対による取引で販売する営業		・仲卸は魚介類販売業

	営業の種類	業の定義	変更点	主な留意点
6	集乳業	生乳を集荷し、これを保存する営業	・生牛乳や生山羊乳だけでなく、 <u>生乳全般</u> が対象	<ul style="list-style-type: none"> ・「生乳」…搾乳後に殺菌等の処理が行われていない動物の乳 ・乳等省令第2条第2項にいう「生乳」は「搾取したままの牛の乳」を指しており、本号の定義と異なる ・豆乳は動物の乳ではないことから、本号の許可の対象としない
7	乳処理業	生乳を処理し、若しくは飲用に供される乳の製造（小分けを含む。）をする営業又は生乳を処理し、若しくは飲用に供される乳の製造をし、併せて乳製品（飲料に限る。）若しくは清涼飲料水の製造をする営業	・従来は製造又は処理の対象を牛乳（脱脂乳その他牛乳に類似する外観を有する乳飲料を含む。）又は山羊乳としていたが、今後、牛乳や山羊乳以外の動物乳が食用に供されている可能性にかんがみて、単に生乳又は乳を対象とした。	<ul style="list-style-type: none"> ・「生乳」の意味は集乳業と同じ
8	特別牛乳搾取処理業	牛乳を搾取し、殺菌しないか、又は低温殺菌の方法によつて、これを厚生労働省令で定める成分規格を有する牛乳に処理する営業		<ul style="list-style-type: none"> ・旧許可から実質的な変更なし
9	食肉処理業	食用に供する目的で食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律に規定する食鳥以外の鳥若しくはと畜場法に規定する獣畜以外の獣畜をとさつし、若しくは解体し、又は解体された鳥獣の肉、内臓等を分割し、若しくは細切する営業		<ul style="list-style-type: none"> ・旧許可から実質的な変更がなく、引き続き、と畜場法等の対象とならない鳥獣のとさつ又は解体を行う営業も対象 ・細切した食肉を小売り販売する場合、追加で食肉販売業の許可は不要
10	食品の放射線照射業			<ul style="list-style-type: none"> ・旧許可から実質的な変更なし
11	菓子製造業	菓子（パン及びあん類を含む。）を製造する営業	・従来の菓子製造業とあん類製造業を統合	<ul style="list-style-type: none"> ・社会通念上菓子の完成品とされる食品を製造する営業をいい、いわゆる菓子種の製造業は含まれない ・客が購入した菓子やパンに飲料を添えて施設内で提供する場合、追加で飲食店営業の許可は不要 ・調理パンを製造する場合、追加でそうざい製造業又は飲食店営業の許可は不要
12	アイスクリーム類製造業	アイスクリーム、アイスシャーベット、アイスキャンデーその他液体食品又はこれに他の食品を混和したものを凍結させた食品を製造する営業		<ul style="list-style-type: none"> ・旧許可から実質的な変更なし

	営業の種類	業の定義	変更点	主な留意点
13	乳製品製造業	乳等省令に規定する乳製品（アイスクリーム類を除く。）及び乳酸菌飲料のうち、無脂肪固形分3.0%未満を含むものの製造（小分け（固形物の小分けを除く。）を含む。）をする営業	・乳酸菌飲料についても本号の許可によって製造できるようになった	・乳・乳製品を原材料とした食品（チーズや発酵乳を一定程度含む菓子やそうざい製品、ソフトクリームの原材料となるいわゆるソフトクリームミックス等）を製造する際は、乳製品製造業の許可を取得した施設のほか、食品の特性に応じ、菓子製造業、アイスクリーム類製造業、そうざい製造業等の許可を取得した施設で製造しても差し支えない ・乳製品のうち、バター、チーズ等の固形物の小分けについては食品の小分け業の対象となる
14	清涼飲料水製造業	生乳を使用しない清涼飲料水又は生乳を使用しない乳製品（飲料に限る。）の製造（小分けを含む。）をする営業	・乳酸菌飲料製造業（生乳を使用しないものに限る。）を統合し、生乳を使用しない乳酸菌飲料の製造（小分けを含む。）を可能とするとともに、生乳を使用しない乳飲料も製造することができるものとした	
15	食肉製品製造業	ハム、ソーセージ、ベーコンその他これらに類するもの（以下「食肉製品」）を製造する営業又は食肉製品と併せて食肉若しくは食肉製品を使用したそうざいを製造する営業	・従来の食肉製品製造業で製造可能とされていた食肉製品に加え、これらと併せて食肉又は食肉製品を使用したそうざいについても、本営業において製造することができるものとした。	・食肉製品製造のための食肉の細切については、食肉処理業の許可は不要
16	水産製品製造業	魚介類その他の水産動物若しくはその卵（以下「水産動物等」）を主原料とする食品を製造する営業又は当該食品と併せて当該食品若しくは水産動物等を使用したそうざいを製造する営業		・あじの開きや明太子などの他、従前の魚肉練り製品製造業の対象であった、蒲鉾やちくわなどの食品も本営業の対象（魚肉練り製品製造業は廃止） ・水産動物…魚介類（魚、貝類、イカ、タコ等）よりも広い概念であって、クジラ、カエル、カメなども含む ・わかめ等の海藻類は水産動物等に含まれず、海藻の製造・加工は、本号の対象としない ・併せて鮮魚介類の販売も行う場合、魚介類販売業の許可は不要
17	氷雪製造業			・旧許可から実質的な変更なし
18	液卵製造業	鶏卵から卵殻を取り除いたものの製造（小分けを含む。）をする営業		・液卵…鶏の卵殻を割って内容物のみを集めたもの ・目的に応じて、卵白だけのもの、卵黄だけのものを製造する場合も対象となる
19	食用油脂製造業	マーガリン又はショートニング製造業を含む	・食用油脂製造業とマーガリン又はショートニング製造業を統合	
20	みそ又はしょうゆ製造業	みそ若しくはしょうゆを製造する営業又はこれらと併せてこれらを主原料とする食品を製造する営業	・みそ製造業としょうゆ製造業を統合	・みそ又はしょうゆを主原料とする食品…みそ加工品（粉末みそ、液体みそ、調味みそなど）、しょうゆ加工品（つゆ、たれ、だし入りしょうゆ等（ただし、しょうゆの原料に占める重量の割合が上位3位以内であって、かつ、原料の重量に占める割合が5%以上のもの（製造時に添加した水は原料として換算しない。）に限る。））

	営業の種類	業の定義	変更点	主な留意点
21	酒類製造業	酒類の製造（小分けを含む。）をする営業	・酒類の製造に小分けが含まれることを明確化	
22	豆腐製造業	豆腐を製造する営業又は豆腐と併せて豆腐若しくは豆腐の製造に伴う副産物を主原料とする食品を製造する営業		・豆腐又は豆腐の製造に伴う副産物を主原料とする食品…焼豆腐、油揚げ、生揚げ、がんもどき、ゆば、凍り豆腐、豆乳（密封・密栓された清涼飲料水たる豆乳を除く。）、おからドーナツ等
23	納豆製造業			・旧許可から実質的な変更なし
24	麺類製造業	麺類を製造する営業（複合型そうざい製造業、複合型冷凍食品製造業に該当するものを除く）		・旧許可から実質的な変更なし ・調理麺（麺にねぎ、天ぷら、油揚げ、チャーシュー、コロケ、カレー等を添付したもの）を製造する場合、追加でそうざい製造業又は飲食店営業の許可は不要
25	そうざい製造業	通常副食物として供される煮物（つくだ煮を含む。）、焼物（いため物を含む。）、揚物、蒸し物、酢の物若しくはあえ物又はこれらの食品と米飯その他の通常主食と認められる食品を組み合わせた食品を製造する営業	・そうざいに米飯やパンを組み合わせた食品を製造する営業も含まれることとなった	・そうざいには、いわゆるそうざい半製品（例：衣をつけるなどの加工はされているものの油で揚げていないコロケ等、喫食するには購入者等による最終的な調理が必要なもの）も含まれる
26	複合型そうざい製造業	そうざい製造業と併せて食肉処理業、菓子製造業、水産製品製造業（魚肉練り製品の製造に係る営業を除く。）、麺類製造業に係る食品を製造する営業（重要工程管理を行う場合に限る。）		・HACCPに基づく衛生管理を行う場合に限る ・魚肉ハム及び魚肉ソーセージは、製造又は加工の過程において特に衛生上の考慮を必要とするため、法第48条第1項に基づき食品衛生管理者が必置となっている。そのため、これらに類するものを含めた魚肉練り製品の製造に関しては、仮にHACCPに基づく衛生管理に取り組んでいたとしても、営業許可の取得は免除されない ・複合型そうざい製造業の施設基準に、追加で、食肉処理業、菓子製造業、水産製品製造業、麺類製造業の個別の施設基準を満たす必要はない（HACCPに基づく衛生管理により、必要な衛生管理の措置が十分に担保されるようにする）
27	冷凍食品製造業	そうざい製造業に係る食品を製造し、その製造された食品の冷凍品を製造する営業		・小売販売用に包装された農水産物の冷凍品も本号の対象に含まれる ・本号の対象は、あくまで食品、添加物等の規格基準において規格基準が定められている冷凍食品の製造であり、製造に当たっては当該規格基準に適合する必要がある。
28	複合型冷凍食品製造業	冷凍食品製造業と併せて食鳥処理、菓子製造業、水産製品製造業（魚肉練り製品の製造に係る営業を除く。）、麺類製造業に係る食品（冷凍品に限る。）を製造する営業（重要工程管理を行う場合に限る。）		・HACCPに基づく衛生管理を行う場合に限る ・複合型冷凍食品製造業の施設基準に、追加で、食肉処理業、菓子製造業、水産製品製造業、麺類製造業の個別の施設基準を求める必要はない（HACCPに基づく衛生管理により、必要な衛生管理の措置が十分に担保されるようにする）

	営業の種類	業の定義	変更点	主な留意点
29	漬物製造業	漬物を製造する営業又は漬物と併せて漬物を主原料とする食品を製造する営業		<ul style="list-style-type: none"> ・漬物を主原料とする食品…高菜漬けのように漬物とその他のものを混合して炒めるなど、漬物のような形態で販売されるもの。調味加工した漬物加工品（味付けザーサイ、味付けメンマ等）。 ・野菜果物販売業（八百屋等）において取り扱っている野菜の塩漬け・ぬか漬けは、附帯的に行う簡易な食品の加工による販売（販売当日中に消費又は使い切ることを想定）として、営業届出の範疇
30	密封包装食品製造業	密封包装食品（レトルトパウチ食品、缶詰、瓶詰その他の容器包装に密封された食品をいう。）であつて、常温で保存が可能なものを製造する営業（食酢、はちみつを除く）	<ul style="list-style-type: none"> ・旧ソース類製造業の営業許可の対象とされていた食品のうち、容器包装に密封され常温で保存が可能なものを製造する営業については本号の営業許可の対象となり、ソース類製造業は廃止 	<ul style="list-style-type: none"> ・食酢にはすし酢が含まれる ・常温により相当期間保存することを目的として、缶、びん又はレトルトパウチ等の気体透過性の低い容器に内容物を充填し、密栓した食品のうち、公衆衛生上のリスクが高いもの又は過去に重大な食中毒の原因となった食品（pH値が4.6以下又は水分活性が0.94以下の食品を除く。）であつて常温保存されるものの製造が対象（要冷蔵品は本号の営業許可の対象とならない） ・他の営業許可業種に該当するものは除く。
31	食品の小分け業	専ら菓子製造業、乳製品製造業（固形物に限る）、食肉製品製造業、水産製品製造業、食用油脂製造業、みそ又はしょうゆ製造業、豆腐製造業、納豆製造業、麺類製造業、そうざい製造業、複合型そうざい製造業、冷凍食品製造業、複合型冷凍食品製造業、漬物製造業において製造された食品を小分けして容器包装に入れ、又は容器包装で包む営業をいう。		<ul style="list-style-type: none"> ・調理や小売販売における小分けは本号の対象とはならない ・製造に付随した小分け行為は各製造業の一部として取り扱い、本号の許可は要しない
32	添加物製造業	法第13条第1項の規定により規格が定められた添加物の製造（小分けを含む。）をする営業	<ul style="list-style-type: none"> ・法第13条第1項の規定により規格が定められた添加物の小分けは本号の許可の対象となることを明確化 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧許可から実質的な変更なし ・第13条第1項の規定により規格が定められた添加物製剤を含む ・規格が定められた添加物を用いて添加物製剤を製造する営業については本号の対象となり、添加物製剤（法第13条第1項の規定により規格が定められたものを除く。）の小分けのみを行う営業については、本号の対象とはならない